

(アセスメントで明らかにするもの)

課題分析 標準項目	状態	原因	利用者 家族 意見	問題(困りごと)	生活全般の解決すべき課題 (ニーズ)仮置き	ニーズ番号 (優先順位) 仮置き	
10 健康状態	病名)脊椎管狭窄症再発 坐骨神経痛、変形性膝関節症、陳旧性脳梗塞、糖尿病、神経障害、高血圧症 通院 長谷川クリニック:月1回通院。整形外科:月1回通院 服薬 降圧剤、鎮痛剤、本人管理だが飲み忘れがある。長女が確認(土・日) 麻痺 左上下肢に軽いしびれ(開き手は右) 身長155cm 体重42.0kg BMI17.48	脊椎管狭窄症 坐骨神経痛 変形性膝関節症 脳梗塞がきっかけ	利用者 家族 意見	利: 左手のしびれ 歩行時に気になる。歩いているのが大変 転んだり骨折しやすい さっと歩かない  長女=薬の飲み忘れが心配 甘い物の好きで糖尿病と高血圧 夫が痛んでいるのを見たくない CM: 疾患によりしびれ痛がでてきている 服薬がきちんと出来ていない 主Dr.: 疾患により下肢・左上肢にしびれがひどい しびれにより服用忘れになっている	利: 夫とこの家で暮らしたい 痛みが、腰、足、膝の痛みがなくてトイレまで安定 てきたい  夫: 痛がっているのを見ているのがつらい 痛みを何とかしたい 娘: 介護保険を使うと両親が暮らして いけるといい → 薬の飲み忘れが怖いので服用が安定してほしい	CM 服薬管理を しっかり コントロールする  主Dr. リハビリで 痛みを軽減 する必要がある	①=関連
11 ADL	食事:自立。排泄:移動に段差があるので一部介助(一度トイレ沼に合わなかったことがある)入浴:浴室までに段差が多数あり。浴槽への出入りのまが時に介助(長女が土・日に1回介助)。更衣:7屈曲が不自由で靴下は介助。移譲:不安定なために介助が必要。移動:段差がなければつかまり歩行、見守り。整容:ほぼ自立。	坐骨神経痛のため 手のしびれのため 筋力低下 浴槽への入り 自宅の段差	利用者 家族 意見	くつ下がはけない、はらついて歩行が不安  トイレまで段差が心配 夫が歩いながらの歩きよさを介助して歩かした 入浴介助を娘がしていて、浴槽への出入り が不安 ⑦ 痛みがひどい筋力低下があるため歩行が不安定 であり車椅子、歩行の可否が不安	④不安なくトイレまで歩きたい 腰の痛みをなくしてくつ下を自分で歩きたい  ⑤安全に入浴してほしい  ⑦ 内服をきちんとし、痛みの改善をする 筋力をUPすることで歩行が安定、浴槽の 出入りがスムーズになる		①
12 IADL	調理:数回したもの、ほとんど行っていない。買い物:日用品は長女、総菜などは夫が買ってくる。掃除・洗濯・日曜日に長女が訪問して行う。金銭管理:夫が行う	筋力の低下 膝の痛みから 料理がこたえる 洗たくし場の不便 夫も家事が苦手	利用者 家族 意見	利 調理をするのが自信がない 苦 2階までいけなくて洗たくできない 掃除洗たくは土日にしかできない CM この状態でいいとますます筋力低下し、 不活発になり、洗たくの必要あり、自信をつける必要がある 薬をしっかりと服用、痛みの軽減	利 本当は調理したい 家 1階で洗たくができるようにしてほしい いいかな CM 自信をもって調理が できるようにする。		②
13 認知	調理の味付けが以前のもとは違う。同じものを繰り返し聞くことがある。タンスに自分の持ち物を出し入れしたり、外出時に手提げ袋の中身を出し入れしたりを繰り返す。	体も不安定なため 味付けも難しい 必ず確認が必要	利用者 家族 意見	利 新聞を何回も同じ所を読んで終わらない 夫 味付けができていない CM: 体調不安定で調理が出来ず自信喪失 主Dr.: 閉じこもりになっている	味付けの材料を食べたい 新聞をスラスラ読みたい CM: サポートしてもらうから調理をやる 自信を取り戻して欲しい		
14 コミュニケーション能力	視力 聴力:問題なし 痛みが激しいときは、話がかみ合わないことがある。	日中一人で家で過ごす ため認知力の 低下になる	利用者 家族 意見	同じ事を2回言っていた ⑦ 日中独居のため認知力の低下、人との 関わりが低下、認知力の低下 あり	おれ子、友人と関わりたい ⑦ 痛みや筋力のUPにより、外出する 機会を増やし、社会との関わりが できるようにしてほしい		
15 社会との関わり	今年の4月より閉じこもった生活をしている。 長男の工務店で夫が働いているが、長男の訪問は不定期。長女は近所に住んでいるが、共働きのため土日の見の訪問。 ハイキング仲間がいる、町田さん。4月以降来ていない。保育士をしていた時の教え子が年に数回訪れる。4月以降来ていない。	他者との関わりが なくなっている 自分から出かけることが 少ない 1本の橋がある 車いすの不便がある	利用者 家族 意見	利 とじこもりから この身体でも行きたい ⑧ とじこもりを脱ぎたい ⑨ 町田さんとハイキング仲間と 関わりたい CM リハビリ	⑧ 散歩したい 友人がほしい ⑨ 友人にまで行ってほしい 外に出ることで 友人と散歩の 仲間がほしい	②=関連	

(アセスメントで明らかにするもの)

課題分析 標準項目	状態	原因		問題 (困りごと)	生活全般の解決すべき課題 (ニーズ) 仮置き	ニーズ番号 (優先順位) 仮置き
16 排尿・排便	尿・便意はあるが、痛みのため思うように歩けず間に合わないことがあった。トイレは寝室の横。排便は4日に1回	トイレの入口に段差がある。体が痛くて思うように歩けない。日中1人。	利用者 家族 意見	① 直向のトイレのバリア。 ② 座席に合わせた高さの便器。 CM: 下肢筋力低下の環境が整備されていないことに伴いトイレでの移動に不安がある。	利用 玄関安心してトイレに行きたい CM: 下肢筋力を上げる必要がある 住環境の整備(段差の解消)が必要 ③ 安全にトイレに行きたい	①② 関連
17 じょく瘡・ 皮膚の問題	特に問題なし		利用者 家族 意見	CM: DMに伴い皮膚症状にかなり高い。 痛みが寝たときに起こり、じょく瘡に化す可能性がある。 低栄養のため治癒能力が低下している	CM: 栄養改善に伴い皮膚症状を防ぐ 清潔保持 夜間ケア防止	
18 口腔衛生	部分義歯 歯磨きは自分でやっている。口腔内に異常なし。	歯磨きの手が大きい	利用者 家族 意見	入歯はちゅちゅと洗っている CM: 歯磨きの際に口腔内を正常状態 口腔ケアが重要である。	CM: 口腔内の清潔を保つ 方法を考へておく	
19 食事摂取	普通食摂取。医師より、低体重なので糖尿病食は摂らないでバランスの取れや食事で栄養改善を図るように言われている。水分700ml。水分を勧めてもトイレに行きたくないからと拒否がある。	料理をする人がいない。台所まで歩いて行って料理できない。甘いものが好き。トイレに思うように行かないから水分を摂らない。配膳する人がいない。	利用者 家族 意見	食はおおしのみ。水分はトイレに行くときに飲むか飲んでいる。食事量が減っている。お粥や汁を食べている。 ① 糖尿病食は作れない。 ② 料理をできる人がいないため、栄養のバランスがとれない。糖尿病の薬、その他の薬の服用が難しい。	もう少し食事量を増やしていきたい 水分 ③ 食生活改善することで、体調の管理が楽になる	①② 関連
20 問題行動	なし		利用者 家族 意見	④ 認知力の低下がすすみ、認知症症状が更に進むと見られる。ADL、IADLの低下が予測される。	④ 認知能力が低下しているよう、活動量を増やし、社会との関わりを維持するよう支援していく。	
21 介護力	夫が介護をしているが、家事は全くしたことがなく、頑固な性格、大工仕事はしているが健康というほどではない。(虚弱) 長女は土日のみ。	娘は夫仕事がある。夫も高齢。夫は家事能力が低い。	利用者 家族 意見	家娘 土曜日しか介護をだせない。父の体が弱っている。夫 DMの合併症がつかないか。 CM 長男の協力が必須ではないか。	夫: 仕事を休んでお世話をしていること 長女: 出来るだけ協力したい CM: 家族が協力して介護をすることで利用者の意欲アップにつながる	
22 住環境	持ち家、2階建て、自室は1階にあり、1階部分で生活している。布団で寝起きをしている。洗濯は行ってないため、2階には上がらない。段差が多い。	家の中の段差が多くてトイレや入浴が大変。体の痛みがあるから。下肢筋力の低下	利用者 家族 意見	段差が多くてトイレに行くのが大変。 洗濯の物が干す場所が2階にあり干して行けない。 ④ 段差が多いため活動量の低下、筋力の低下などが予測される。	1人で安全にトイレに行きたい。 ④ 段差の解消と、自信を持って室内を歩けるようになる	
23 特別な状況	特になし		利用者 家族 意見	CM 突然の家族の病気の可能性。	CM 夫の負担の軽減を考へるとともに社会資源の活用も検討する	

思考過程シート (ICFモデルを使った整理)

2G

作成日 平成 年 月 日

課題分析標準項目		項目(ICF)	仮置きニーズ (項目ごとのまとめ)	仮置きニーズを確定するに当たって考えたこと (利用者の生活に何が起きているのか)	
				思考過程の記述	ニーズ確定のための具体策イメージ
10	健康状態	健康に関すること (健康状態) 10		痛のコントロールをするために服薬 管理をお 食生活を改善することによって 管理ができる 筋力UPをするためにリハビリを する。	
11	ADL				
12	IADL	心身状況に関すること (心身機能・身体構造) 13.14.16.17.18		自信をもって調理ができる ようになること。食事の量も 食べるようになるのはいいが。 それによって体がもたてくるのは ないが。	
13	認知				
14	コミュニケーション能力	日常生活に関すること (活動) 11.12.14.16.18.19.20			
15	社会との関わり				
16	排尿・排便	社会生活に関すること (参加) 15			
17	じょく瘡・皮膚の問題				
18	口腔衛生	介護に関すること (環境因子) 21			
19	食事摂取				
20	問題行動	環境その他に関する こと (環境因子・個人因子) 22.23			
21	介護力				
22	住環境				
23	特別な状況				

ニーズ 番号	生活全般の解決すべき課題 (ニーズ)